

*DATECNV

一般形式

*DATECNV({ 一意名 } 形式指定-1 形式指定-2)

機能

引き数の日付の形式を、他の形式に変換した結果を返却する関数である。形式指定-1は、第1引き数の日付の形式を指定する。形式指定-2は第1引き数の日付を変換する形式を指定する。

第1引き数の日付は、形式指定-1の形式とみなされ、形式指定-2の形式に変換される。関数の桁数は、形式指定-2で指定した桁数となり、属性は用途が表示用の符号なし外部10進項目である。

第1引き数の値が日付として正しくないときは、0を返す。

X := "910301".	VALUE1 ~ 3の値は、以下のとおり。
VALUE1 := *DATECNV(X, YYMMDD, DDMMYY).	• VALUE1...010391
VALUE2 := *DATECNV(X, YYMMDD, YYDDD).	• VALUE2...91060
VALUE3 := *DATECNV(X, YYMMDD, NYMMDD).	• VALUE3...4030301

属性

属性は表示用の符号なし外部10進項目である。桁数は、形式指定-2の桁数がとられる。

構文規則

- 一意名は、英数字、集団項目、または用途が表示用の符号なし外部10進項目でなければならない。
- 定数は、文字定数でなければならない。
- 一意名に、部分参照、関数、連結文字列、およびシステム領域名は指定できない。
- 形式指定-1にYY、MM、およびDDは指定できない。
- 形式指定-1にYYMMを指定したときは、形式指定-2にはYYまたはMMしか指定できない。
- 形式指定-1にMMDDを指定したときは、形式指定-2はMMまたはDDしか指定できない。
(2月の日数は、29まで指定可能。)

形式指定

一般形式

{
NYMMDD
YYYYMMDD
YYMMDD
YYDDMM
MMYYDD
MMDDYY
DDMMYY
DDYYMM
YYDDD
YYMM
MMDD
YY
MM
DD
}

属性

形式指定の意味を表2-29に示す。

形式指定	意味
NY Y	和暦の元号1桁と年2桁 1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成 5:令和 なお、元号は西暦では以下の範囲である 明治:1868年 9月 8日 ~ 1912年 7月29日 大正:1912年 7月30日 ~ 1926年12月24日 昭和:1926年12月25日 ~ 1989年 1月 7日 平成:1989年 1月 8日 ~ 2019年 4月30日 令和:2019年 5月 1日 ~
YYYY	西暦年4桁
YY	西暦年下2桁
MM	月
DD	日
DDD	1月1日から数えた日数

2桁のYYは通常1900年代を示すが、構成定義によって年代を切り替えることができる。詳細については、“p.253 日付処理用関数の切り替え値の指定”を参照されたい。また、構成定義で特に指定していないときの以下のような場合は西暦1800年代の下2桁を示すことも有り得るので注意されたい。

- ・形式指定-1にNY YMMDDを指定し、かつ
- ・形式指定-2にYYを含む形式を指定

* DATECNV("1020101", NY YMMDD, Y YMMDD)のときの関数の返却値は690101である。このとき、69は西暦1869年を意味し、1969年のことではない(1020101 明治2年1月1日 1869年1月1日)。